

## 令和2年度とまちプラザ運営審議会「議事要旨」

【開催日】 令和3年3月4日（木）書面開催

【委員】 天内 道子、小沼 美樹、田中 恵子、内田 常代、池田 知佳士、  
加納 溪村、角谷 巍啓、鈴木 義尚、増子 和則、木川 博史、梶原 一生、  
曾根 弘子、宮本 まゆみ、櫻井 政宏、栗原 剛、鈴木 敏市、高橋 淑子、  
外崎 玲子、下坪 文香、東 みき （以上20名、敬称略）

【事務局】 生涯学習部 部長 井上 猛  
生涯学習文化課 課長 石津 邦久  
生涯学習文化課 係長 大橋 由幾  
生涯学習文化課 主任 米林 史哲  
生涯学習文化課 主任補 金子 大輝  
生涯学習文化課 主任補 高沼 恭子 （以上6名）

### 【会議次第】

1. 開会
2. 議題
  - (1) 令和2年度とまちプラザ事業経過報告
    - ア. 指定管理者による主な取組み
    - イ. 帯広市教育委員会による主な取組み
    - ウ. 新型コロナウイルス感染症による影響と対応
  - (2) その他
3. 閉会

### 議事要旨

- (1) 令和2年度とまちプラザ事業経過報告
  - ア. 指定管理者による主な取組み  
＜会議資料及び事務局説明資料により説明＞  
⇒ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「自主事業」や「指定管理業務」での多くの事業が中止などの影響を受けたもの。「利用者満足度調査の実施結果」では、とまちプラザの管理運営などに対し、例年並みに高い評価となった。「修繕関係」では、指定管理者による小規模修繕により、適宜設備機器などの修繕や備品類の部分交換が行われたもの。

イ. 帯広市教育委員会による主な取組み

<会議資料及び事務局説明資料により説明>

⇒ とかちプラザ1階「ラウンジ」の運営事業者の募集については、公募の結果株式会社オカモトによる『ドトールコーヒーショップとかちプラザ店』が令和2年7月16日に出店し、新型コロナウイルスの感染防止対策を行った上で事業展開され、施設の利便性向上などに繋がっているもの。また、自主財源確保の取組みとしては、とかちプラザ6階トレーニングルームガラス面を活用した「屋内広告事業」を実施（現在、随時募集中）。「修繕関係」では、大規模修繕として、給湯用ボイラーと高圧受電盤を更新し、冷暖房用空調機コントローラ2基の修繕を行った。今後も老朽化に伴う躯体や設備機器等の故障が予想されることから、指定管理者と連携の上で機器等の状態を把握し、適宜対応していくもの。

ウ. 新型コロナウイルス感染症による影響と対応

<会議資料及び事務局説明資料により説明>

⇒ 新型コロナウイルス感染症に伴う令和2年度のとかちプラザの主な「影響」としては、緊急事態宣言発令に伴い令和2年4月20日から同年5月26日にかけて、とかちプラザを臨時休館としたもので、また、コロナ禍での影響により各種イベント等の中止が相次ぎ、利用者数や利用料収入が減少した。その他、感染防止対策に伴う各種制限などの影響も受けたもの。

コロナ禍での施設運営にかかる「対応」としては、非接触型検温器や消毒液の設置などのほか、館内トイレや各貸室などの衛生管理を強化。また、利用者負担軽減の観点から、新型コロナウイルス感染症を理由とした利用料金の全額還付対応や納入期日緩和などの措置を行い、コロナ禍においても利用しやすい施設運営を行っているもの。

(2) その他

<会議資料及び事務局説明資料により説明>

⇒ コロナ禍での対応は大変な中、無事に運営されていることは、対応がきちんとされているからだと思う。

⇒ 引続き市民が活動しやすく、安心できる運営をお願いします。

⇒ 臨時休館や感染防止対策に対処し、指定管理者の方々ご苦労様です。

⇒ 利用者として、とかちプラザで通常通りに活動ができることを心待ちにしております。

以上